

2016.6.16 労働者と市民の宣言

私たちは、平和な世の中で生きたい。
私たちは、戦争に協力したくない。
私たちは、私たちの日々の仕事が、流す汗が、
他国の人を殺すことにつながらないようにしたい。
私たちは、戦争に対して、全力であらうがいたい。

私たちは、いまこの国にある憲法が、戦争の放棄ということばが、
多くの人のしかばねの上にあることを忘れない。
まぎれもなく私たちの住む国がもたらした、無残な歴史の果実であることを忘れない。
そして犠牲になった多くの人たちへの約束であることを忘れない。

私たちは、明日を選び取ることができる。
働く者、生活する者として、それぞれが力を持っている。
私たちは知っている。
権力を握る者が、本当に大切なときに、いちばん大切なことを隠して、
みんなに見せないようにすることを。
本当のことをけっして言わないことを。
矛盾だらけの嘘を平気につくことを。
卑怯な手段で少しずつ人々を軍備と戦争に近づけていることを。
敵ではない人たちを敵のように見せ、おとしめていることを。
私たちがあざむき続けていることを。

私たちはだまされない。
人間の生活にとって何がいちばん大切か、私たちは知っている。
戦争をしたがる者たちとたたかい、嘘をあばき、
軍備と戦争につながる道に立ちふさがろう。
平和な明日を私たち自身の手で、みんなで、今こそ選び取ろう。



戦争に協力したくない！ 労働者と市民の集会 参加者一同